

## 平成27年度「組織目標」

組織名	リハビリテーションセンター	(所属長名)	野本 慎一
組織の使命(なぜ)	リハビリテーションの総合的な発展を目的に、先駆的なリハビリテーションの実践やリハビリテーションを提供するための仕組みづくり、人材の育成等を包括的に進めることとし、リハビリテーションの基盤形成、専門的医療リハビリテーションの提供、総合リハビリテーションの推進、地域リハビリテーションの支援の各機能を遺憾なく発揮できるよう、各種の事業や活動を展開します。		
組織の経営資源	予算額(人件費を除く):	37,464千円	人員: 16人
県民へのメッセージ	リハビリテーションは、障がいがあっても社会生活から阻がれさることなく、人間らしく生きることができるよう取組を進めることであり、利用者本位の観点から、日常生活や社会生活に必要な機能や役割の回復、生活状況や社会環境の見直しなどの取組を総合的に進めます。		

○暮らし(健康)				
	課題 (何を)	具体施策 (どのように)	目標値 (どれくらい)	目標 (どんな状態にする)
目標1	高次脳機能障がいや脊髄損傷等の障がいのある人々を対象に、社会生活自立を目標とした支援を充実します。	医療部門を退院した人や相談のあった人々を対象に、地域社会において自立した生活が実現できるよう、関係機関との連携による個別の支援や、地域における課題に対応するなどの総合的な支援を実施します。	医療部門を退院した人や相談のあった人々うち、社会活動への参画や就労のための支援等が必要な人に対し、地域社会の課題に考慮した支援活動を進めます。 平成27年度目標: 100%	地域社会の課題に対するアプローチをとおして、生活支援サービスの利用促進や社会活動への参画、就学・就労への取り組み等を進め、社会生活自立を目指します。
目標2	高齢者や障害のある人が、地域において安心して生き生きと日常生活や就労活動、社会活動ができるよう二次圏域など地域への支援をはかります。	高齢者や障害のある方が地域における支援機関などより寄せられる相談に対し、リハビリテーションに係る専門的な支援を実施します。	平成27年度目標:事業や総合相談窓口での相談対応件数180件以上	高齢者や障害のある方が、地域でのより質の高い生活や社会への統合が果たせるよう、当事者をはじめ支援される方へリハビリテーションにかかる専門的な支援を行います。
目標3	リハビリテーションの理解促進、知識・技術の向上、実践活動の充実等を図ります。	リハビリテーションセンターにおける教育・研修事業を強化し、地域の支援の場における実践活動の充実を図ります。	教育・研修事業の受講者を対象としたアンケート調査を実施し、研修目的に合致し実践場面に反映できる内容であった評価が得られるような企画で開催します。 平成27年度目標:実践場面で有用とする回答率 90%以上	医療・保健・福祉・教育・職業などのリハビリテーションにかかる各種の専門職を対象として、疾患別対応技術の向上等を図ることにより、リハビリテーション提供体制の充実を図ります。
目標4	高齢期で障害のある人が、住み慣れた場所で安心して日常生活を送り、地域社会に参加できるよう支援します。	質の高い相談・判定の提供により、適切な福祉用具や補装具の利用をすすめます。	平成27年度目標:補装具および更生医療にかかる相談・判定 2,900件	福祉用具センター等関係機関との連携により、質の高い福祉用具や補装具の提供が可能となるよう、体制の充実を図ります。